

## あの日、あの時

観一・3回 柳川邦衛

生まれて初めての受験と合格発表。昭和21年3月、終戦の翌年であった。憧れの三豊中学（旧制）へ、ドキドキしながら発表を見に行ったが、どこでどのような掲示発表があったのか記憶は定かでない。入学して先ず感激したのは、正門を入った正面に堂々と建つ本館だ。木造建てながら、ギリシヤ建築を思わせる直線的な切り妻の屋根や破風の美しさ、どっしりと支えるエンタシス風の円柱の力強さが、本山村の小学校を出た少年に、学の殿堂という雰囲気強烈に印象付けられたことが六十年経った今も鮮明に甦ってくる。

敗戦で価値体系は一八〇度転換し、連合軍の占領政策で教育制度も六・三・三制に変わった。大きな歴史の流れの中で、旧制・三豊中学を三年、新制・観音寺第一高校を三年という、結果的には実に貴重な中高一貫教育を図らずも経験することとなった。戦後の混乱期と多感な思春期の六年間とが重なったので、僕の、「あの日、あの時」は数多くあって、その中から一つだけを選び出すのは極めて難しい。が、敢えて幾つか選び出すとすれば・・・。

### 1. 男女合同（3年4組〜3年9組）フォークダンス

先ず第一には、合併した三豊中学・三豊高女両校の歴史始まって以来初の男女合同でのフォークダンスを3年生の秋、全校文化祭の折に挙行了たことである。民主主義、男女同権、自由恋愛等々が謳歌され始めた時代ではあったが、合併された観一では、まだ男子組、女子組に分かれている男女併学であった。男女が異性を意識せず、自然体で話したり付き合ったりする雰囲気もなかった時代に、我々3年4組はバンカラながら結構チャレンジスピリッツを持っていて、3年9組の女子に申し入

れをしたのである。いわば観音寺の「青い山脈」であった。ダンスのご指導は磯野先生——優しさと厳しさと、そして人間味とユーモアに富んだ素晴らしいキャラクターをお持ちの先生だ。当時は男の先生でも、生意気盛りのバンカラな男子生徒達を、キチンと統御するのは難しかったのだから、女性の先生にとっては至難の業であったろう。が、磯野先生のご指導は驚異的であった。いわば荒くれどもを見事に手馴づけられたのだから感服した。人間的にも心から尊敬できる先生であり、この歴史的快挙？の大成功は磯野先生のご指導によるところ将に大であった。後年、女子体操部を日本一に育て上げられたのもむべなる哉である。（別掲写真は歴史的快挙？の後の記念撮影）

## 2. 3年4組の勲章、校内競技大会での総合優勝

高校3年の時、校内でクラス別の競技大会が行なわれた。種目は、籠球、排球、庭球、卓球、野球、陸上競技、水泳の7種目（であったと記憶）で総合得点を競い合うもので、我が3年4組は総合優勝という快挙を成し遂げた。私も、4〜5種目に出場した。大学受験も近いというのに、情熱とエネルギーを傾け汗と泥にまみれた仲間達との友情は、一緒に燃えた想い出と共に貴重な青春の宝物である。競技中のあの場面、この場面は今も胸の裡に浮かんで来る。あのトロフィーや賞状はクラス全員の宝物であると同時に、私には観一高で青春と友情とクラスの栄光のために燃えた証しであり、これこそ「僕の卒業証書」である。（別掲写真は総合優勝の記念撮影）

## 3. 「学園の歌」制定

三中和三女にはそれぞれ伝統ある立派な校歌があるが、併合を了えた新生観一高で私が2年生の時に、新しい時代に相応しい校歌の歌詞が募集され、応募した私の作品が一席入選の光栄に浴した。これに芸大出で若い気鋭の小野先生が素晴らしい曲をつけられ大々的な発表会

があった。当時の観一高新聞に歌詞と曲が紹介され、作詞者の私もインタビューを受けた。記事の内容は覚えていないが、唯一ヶ所、曲に対する私の感想が、ほぼ以下のような内容であった。

「旧制高校の寮歌のような旋律を意識した歌詞だったので、一寸自分のイメージとは違う曲となった・

・・云々」

あゝ何たる思い上がった言葉！未熟な詩藻にも拘わらず当選しただけでも過分であるのに、この不遜な態度は無礼にも小野先生を傷つけ、また心ある先生方の矚度を買ったに違いあるまい。確かに、当時の中学生の間では、旧制高校の風潮に憧れる傾向が残っていたし、数多くの寮歌には、今も人々の心を惹きつけているものがある。然し、あの私の歌詞につけられた小野先生の曲は、暗い谷間の時代が終わり、新しい自由と平和が息吹き始めた時代に相応しく、明朗で若い躍動感に溢れるものであった。しかも、あれから半世紀以上を経た今日聞いても、実にフレッシュである。インタビューされた内容は殆ど忘れたが、この一事だけが脳裏にこびりついているのは、己を知らぬ井の中の蛙にも、多少は恥を知る気持ちが心の奥底にあったのかも知れない。

青春時代の「あの日あの時」の光栄と無恥を披瀝し、小野先生はじめ諸先生方に心からお詫び申しあげたい。そして、この機会に新生観一高の学園の歌を、小野先生の素晴らしい曲に私の拙い歌詞も添えて掲載させて頂くことをお許し願います。

## 学園の歌

1 朝日に映ゆる巨鼈山 夕日は燃ゆる燧灘

こゝ西讃の一角に 集いて謳わん 学園の

あゝ 歓びの黎明を

2 野をさ緑に彩りて 滔々とゆく財田川

涯なき流れを望みつつ 集いて建てん 学園の

あゝ 輝ける伝統を

3

琴弾く磯の松風に

仰ぐ瞳に夢熱く

あゝ 永久の栄光を

北斗の影は清く冴え

集いて讃えん 学園の